

有事に備えて —村総合防災訓練—

今年の「飯館村総合防災訓練」は9月12日、白石小学校校庭をメイン会場に行われ、消防団や関係機関団体、住民など約850人が参加し、有事の際に備えて避難や消火等の訓練を行いました。今回の訓練は、福島県

沖を震源とした震度6弱の地震が村を襲い、家屋の倒壊や火災、負傷者が発生したとの想定で行われました。午前8時30分、役場内に設置された対策本部に災害発生の手が伝えられると、広報車が住民へ避

難を勧告、住民らは消防団員の誘導によりバスなどで白石小学校校庭に避難しました。校庭では、食糧供給訓練、初期消火訓練、倒壊家屋からの救出訓練など13種目にもわたる訓練が行われ、参加者たちは消防署員の指示を受けながら、それぞれの訓練にできばきと対応し防災に対する意識を高めていました。



▲消防団員による一斉放水訓練



救急処置訓練



バケツリレーによる
消火訓練

睡眠は脳と心の栄養です

子供会育成会「子育て講演会」



▲子育てについて講演する星野教授

村子供会育成会連絡協議会（佐藤峯夫会長）などが主催する「子育て講演会」は、9月9日に村公民館で行われ、会員や教育関係者など約70人が参加し、心と体のバランスの良い子育てについて学びました。

今回の講師は、福島学院大学の福祉学部部長で前メンタルヘルスセンターの所長も務めた星野仁彦教授。「子どものこころの育ち方」と題して講演しました。星野教授は、「テレビやゲームのやりすぎ、睡眠時間の夜型化などライフスタイルの乱れによってキレやすい子どもが増えてきている」と、最新医学の研究成果を紹介しました。

また、「ストレスに強い子どもを育てるためには、和食型の食生活と睡眠を十分とること」と説明し、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。